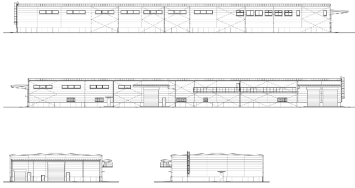
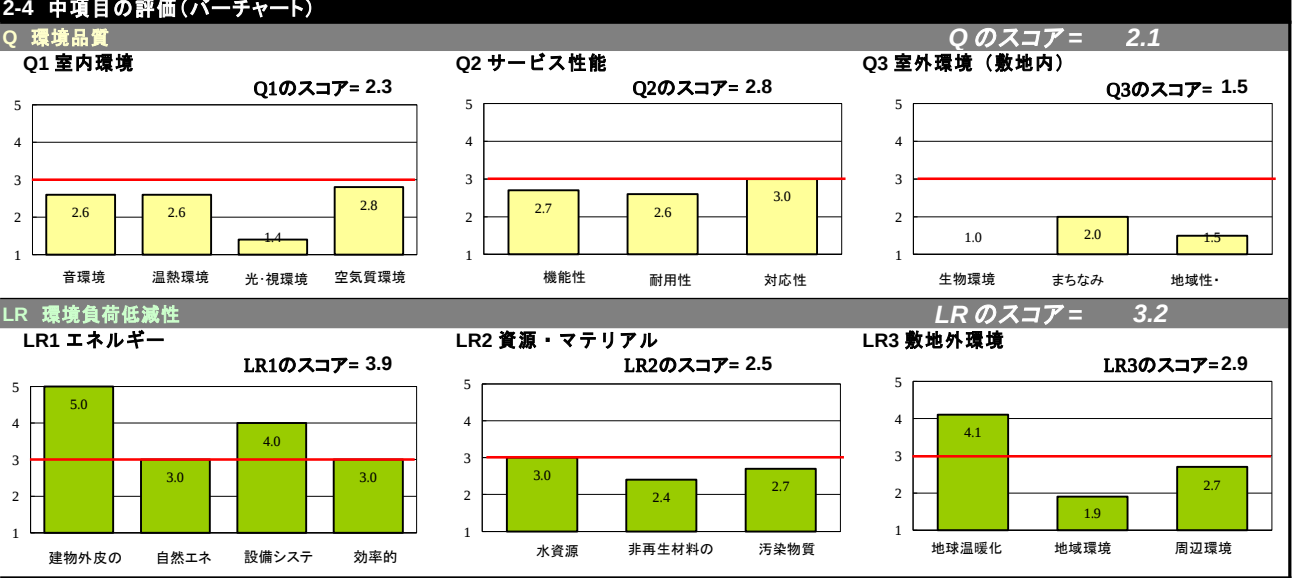
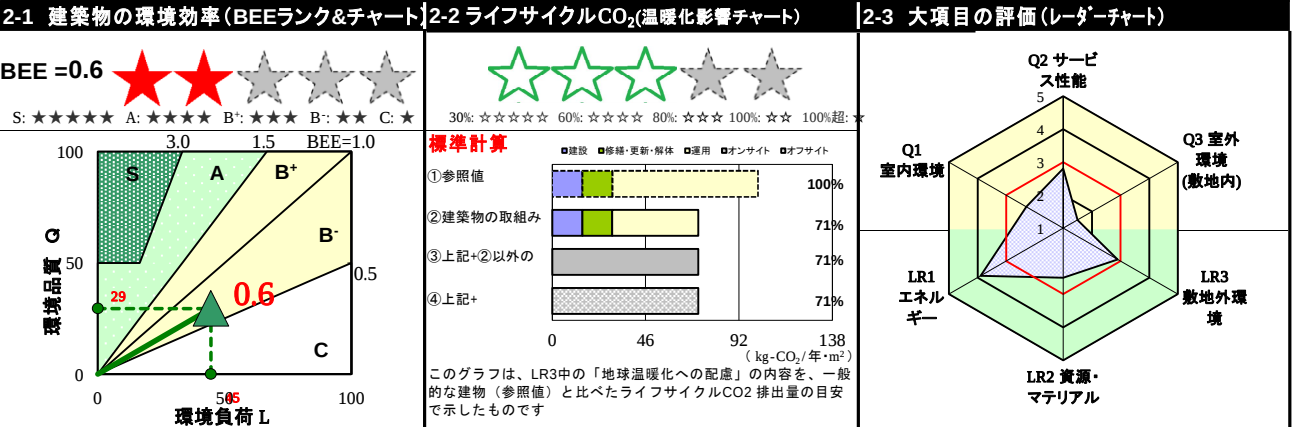


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	日産大阪販売株式会社(仮称)摂津	階数	地上2F		
建設地	大阪府摂津市東別府	構造	S造		
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	30 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	1,824 時間/年(想定値)		
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2025年4月16日		
敷地面積	7,611 m ²	作成者	津金友紀		
建築面積	2,344 m ²	確認日	2025年4月16日		
延床面積	2,724 m ²	確認者	近藤圭		



3 設計上の配慮事項		
総合		
省エネルギー、省資源、リサイクル性能といった環境への配慮とともに、室内環境の快適性、建築物の長寿命化、景観への配慮なども含め建築物の総合的な環境性能を評価できるように計画している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
化学汚染物質の発生が少ない建材を中心に使用し、また居室には適宜開口部を設けることで、空気室環境の向上に配慮している。	事務室その他主要な室は全て天井高さ2.5m以上を確保し、適宜開口部を設けることで、建物利用者の快適性向上に配慮している。	敷地内緑化に努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外壁には断熱性能の高い材料を使用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。	節水性能への配慮。	光害の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2024年版

受付番号R7-0008

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu・新築・既存 2024V1.4

【建物概要】 建物名称		日産大阪販売株式会社(仮称)摂津テクニカルセンター新築工事(BP棟)					
建設地		大阪府摂津市東別府					
用途／区分		工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					Bー	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					1	
③	断熱性能					5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 評価対象外				評価対象外	
④	エネルギー消費性能					4	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分 評価対象外				評価対象外 4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	4.1	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	1.0	1
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善	1.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	4.0	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		